

2026 年 4 月 10 日作成 Ver. 1.2

《情報公開文書》

ベンゾジアゼピン系鎮静薬レミマゾラムが腹腔鏡手術患者の全身麻酔中における
補正 QT 間隔および Tpeak to Tend に及ぼす影響の検討
～セボフルラン、プロポフォールとの比較～

研究の概要

【背景】補正 QT 間隔は秩序だった心臓の収縮を維持するために重要な心電図上の指標です。全身麻酔に使用される薬剤は補正 QT 間隔に影響を及ぼすことが分かっておりますが、2020 年より新たに使用されている全身麻酔薬レミマゾラムが補正 QT 間隔に与える影響は分かっておりません。今回の研究ではその影響について評価を行いたいと考えております。

【目的】レミマゾラムが腹腔鏡手術中の補正 QT 間隔に及ぼす影響を検討し、他の麻酔薬（セボフルラン、プロポフォール）による影響と比較比較すること。

【意義】吸入麻酔薬を用いた腹腔鏡手術中は補正 QT 間隔が延長しやすくなりますが、レミマゾラムが補正 QT 間隔にもたらす効果を特定出来れば、吸入麻酔薬に代わる代替手段として使用することが可能となります。

【方法】下記の対象となる患者さんの電子麻酔記録に保存されている心電図を用いて、補正 QT 間隔を測定します。合計 8 つの測定ポイントを設定し、手術が終わるまでに補正 QT 間隔がどのような変動をしているのかを評価します。

対象となる患者さん

- ①2024 年 1 月～2025 年 12 月までに当院で腹腔鏡手術を施行された患者
- ②全身麻酔にレミマゾラムもしくはセボフルランもしくはプロポフォールが使用された患者

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・年齢・性別・体重・基礎疾患・内服薬などの患者基本情報
- ・電子麻酔記録に保存されている心電図、血液検査のデータ

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 5 月 22 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。
あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2026 年 12 月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 麻酔科 氏名：東島 潮 住所：長崎県 長崎市 坂本 1－7－1 電話：095（819）7370
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 麻酔科 東島 潮
 〒852－8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号
 電話：095（819）7370 FAX 095（819）7373

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200
 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）